



web

滋賀県立日野高等学校

溪泉同窓会

溪泉

2012. 1. 24.(火)

編集と発行：滋賀県蒲生郡日野町上野田150 日野高等学校内 事務局 0748-52-1200

1月21日、日野高校で

総会が行われました

長い間行われていなかった溪泉同窓会総会が、1月21日午後2時から、日野高校大講義室でひらかれました。

はじめに、この間にご逝去された歴代会長の吉村・徳田・山口氏をはじめ多くの物故会員をしのんで、1分間の黙祷があり、新役員の紹介に続いて、会長の門坂氏があいさつを行いました。(写真左上)

前田校長が日野高校の近況を報告、進路や部活動での活躍ぶりにうなずいておられる会員さんも見られました。

来賓として井阪県議があいさつ

また、昨年の県議会議員選挙で初当選された井阪尚司氏は昭和47年3月の卒業生で、用意された資料で説明を加えながら、高校再編問題などを中心に来賓あいさつをいただきました。

(写真左。手ぶりを交えて説明される井阪氏。その左は藤澤政男副会長。)

議事では、この間の経過報告、会計決算報告、監査報告

を拍手で確認しました。

また、平成23,24年度の活動方針・事業計画と23年度予算が提案され、いずれも承認されました。

活動方針・事業計画(別掲)では、会報『溪泉』や、その電子版『Web溪泉』の発行、また、老朽化した溪泉会館の一部補修、さらには、ひきつづき予想される高校再編・統廃合を見据えて、日野高校の存続・充実・発展をめざす取り組みなどが盛り込まれました。

学年や学級の同窓会の計画、古い資料、OBの活躍など情報を事務局までお知らせください。

平成23, 24年度活動方針・事業計画

平成17年(2005年)に創立100周年を迎えた滋賀県立日野高等学校は、一学年4学級の総合学科の高校として、地域になくてはならない存在となっています。17,000人を超える本会の会員は、地域のみならず各界・各分野で多数活躍し、在校生に元気を与える存在となっています。

ところが、本会はしばらく総会等の定期的な活動を休止した状態が続いていました。このままでは近い将来に予想される高校再編計画等に対応できないのではないかと、という会員諸氏からの声を受けて、平成22年(2010年)2月に6年ぶりに常任幹事会を開き、日常的な活動の再建に向けて取り組んできました。今回、総会の開催を機に、次の諸活動を提案します。

(1) 会員相互の連携・親睦の場として、組織活動・広報活動を重視します。

①個人情報保護に留意した上で、会誌『溪泉』(名簿)の定期的発行をひきつづき行います。

(第13号を平成23年秋に刊行、次号14号は平成28年の予定です)

②会報『溪泉』の定期刊行(年1回)体制を確立し、平成24(2012)年度に第3号を発行します。

③情報化・速報化の時代の要請に応え、会報の電子版『Web溪泉』を日野高校のHP(ホームページ)内に設け、随時更新します。

<http://www.hino-h.shiga-ec.ed.jp> → 渉外→同窓会

④個別学年・学級・地域同窓会などの情報提供・連携に取り組めます。

⑤会則第7条および第10条の規定を念頭におきつつ、当面総会を2年に一度行い、常任幹事会を随時行います。

⑥ひきつづき、卒業式まえに同窓会入会式を行い、新会員を迎えます。

(2) 母校の充実と発展に寄与する活動に取り組めます。

①老朽化により損傷が目立つ溪泉会館の一部補修に取り組めます。

②県教育委員会の「高等学校再編計画」が、今後日野高校に及ぶことも懸念されます。「蒲生野に文化の使命をにない一世紀」、歴史と伝統のある、地域になくてはならない存在としての日野高校の存続・充実・発展のために、必要に応じて学習や運動に取り組めます。